

事務事業	所属	手段	意図	指標名	実績値	達成率 (%)	H30事業費 H30人件費	R1事業費 R1人件費	総合 評価	評価責任者コメント	今後の実施方向性
				単位	目標値						
庁舎管理事業	上下水道局総務課	老朽化が著しい局舎の維持管理業務	効率的に維持管理を行い、適正な執務環境を確保する。	事業費削減額(対予算額)	1,041	134.6	14,428	3,661	A	旧上下水道局舎の運用について検討していく必要がある。	廃止・休止
				千円	773.45		5,875	5,875			
人事管理関係事業	上下水道局総務課	・経験年数に応じて研修を受講させ、技術力向上を図る。 ・随時組織を見直し、効率的な組織体制を目指す。	研修等により職員の技術力向上を図り、また、職員が健康な心身で公務に専念できるように体制を整え、効率的な事業運営を可能とする。	職員削減数	2	200.0	3,122	3,962	A	計画的に進めていくこと。	組織として、適正な職員数の検討を進めるとともに、職員の専門知識の向上、スキルアップに努める。
				人	1		23,501	23,501			
財産管理事業	上下水道局総務課	公用車及びパソコンについて、総務課で一括管理し効率的な運用を行う。	財産の効率的、効果的な運用による効果的な事業運営	事業費削減額(対予算額)	-286	-72.2	8,808	8,757	A	今後も効率的効果的に進めていくこと。	適正な公用車台数を検討する。市長部局と連携して、旧上下水道局庁舎(速玉)を適正に管理する。
				千円	396.2		7,344	7,344			
水道事業ビジョン策定	上下水道局企画調整課	平成29年度に事業統合を行った。現行の地域水道ビジョンを平成29～30年度の2箇年で新水道ビジョン「周南市水道事業ビジョン」に改訂、これに合わせて水道施設の更新計画・耐震化計画を策定する。	水道施設の適正な維持管理と計画的な更新、耐震化を進める。	計画書策定実施数	3	100.0	7,787	0	A	経営戦略を含めた新水道ビジョンは、これからの水道事業の基本となるものであるため、フォローアップを実施すること。	廃止・休止 水道事業ビジョン策定完了
				業務	3		22,032	0			
下水道施設のストックマネジメント計画策定	上下水道局企画調整課	下水道施設全体を俯瞰したストックマネジメント計画を平成29～30年度で策定し、計画に基づいて効率的に下水道施設の維持管理や更新を行う。	下水道施設の適正な維持管理と計画的な更新を行う。	計画書策定実施数	2	100.0	64,970	50,000	A	下水道施設全体を俯瞰したストックマネジメント計画は、膨大な財源が必要となることが明らかであるので、計画内容等を慎重に検討する中で作業進捗を図られたい。	計画的に施設の更新を進めていく
				業務	2		7,344	7,344			
雨水排除の計画策定	上下水道局企画調整課	集中豪雨時の浸水被害を軽減するため、雨水函渠やポンプ施設の計画策定を行う。	浸水被害の軽減	計画書策定実施数	2	100.0	12,398	24,000	B	安心安全に係る重要な事業である。しかしながら、雨水対策は、一般会計が費用負担をする事業であるので、問題のある個所を短期間で解消することは不可能である。局財政課、市長部局財政課と連携し、計画的な実施が不可欠である。	財政計画を踏まえ、事業の優先順位を検証する。
				業務	2		7,344	7,344			
汚水処理施設の計画策定	上下水道局企画調整課	下水道事業計画区域の整備困難地区において、市街化区域及び用途地域内は整備計画を策定する。それ以外の地域は住民の方の同意を得て計画区域から削除し、浄化槽での水洗化を進める。	早期水洗化を図る	計画書策定実施数	0	-	0	10,000	B	計画的に実施すること。	早期水洗化を図るため、用途地域外については個別処理(浄化槽)への移行を進める。
				業務	0		7,344	7,344			
徳山中央浄化センター再構築事業費	上下水道局企画調整課	再構築事業は、民間事業者の持つノウハウや資金を活用する官民連携手法の導入を前提として推進していく。また、官民連携手法の精査をアドバイザー業務の中で進めていく。	供用開始から50年以上が経過し、老朽化が著しい徳山中央浄化センター水処理施設の再構築を行う。	アドバイザー業務	0	-	0	31,000	B	計画的に事業を進めていくこと。	アドバイザー業務において、さらなる経済効果を目指す。
				業務	0		14,688	14,688			
水道事業の経営健全化推進事業	上下水道局財政課	毎年度定期的に事業内容を精査・検証し、経常経費や投資的経費の縮減を図る	持続可能な事業運営	経常収支比率	107.7	100.4	0	0	A	経営健全化計画目標達成に向け、短期的な実施計画の見直しを行うこと。	事業内容について随時検証・精査し、経常経費や投資的経費の縮減を図る
				%	107.3		23,501	23,501			
下水道事業の経営健全化推進事業	上下水道局財政課	毎年度定期的に事業内容を精査・検証し、経常経費や投資的経費の縮減を図る	持続可能な事業運営	経常収支比率	100.31	95.3	0	0	B	経営健全化計画及び下水道経営戦略の目標達成に向け、企画調整課が作成するストックマネジメント計画により費用の平準化を図ること。	事業内容について随時検証・精査し、経常経費や投資的経費の縮減を図る
				%	105.3		23,501	23,501			
上下水道料金徴収事業	上下水道局料金課	①未収金の早期回収に努める。②料金徴収業務委託業者を決定し監督・指導する。	上水道、下水道の使用に対する公平な受益負担をいただくため、当該料金の回収に努め、公営企業財政の健全な運営をめざす。	現年収納率	99.7	100.3	128,704	128,704	A	支払い方法の多様化への対応と新規未回収債権回収困難事案が主であるため、新規未回収債権の発生防止とともに、回収困難債権の保全や管理が主となる。	
				百分率	99.4		53,734	52,545			
管路耐震化事業	上下水道局水道工務課	災害時の重要給水施設への配水管路や、漏水発生の多い硬質塩化ビニル管及び老朽化した鑄鉄管などを対象とし、すべて耐震管へ布設替えを行い耐震化率の向上を図る。	基幹管路に続く主要な幹線管路、災害時に重要給水施設に供給する管路及び管路の約40%を占める硬質塩化ビニル管や鑄鉄管などの老朽化した配水管の耐震管への更新を行い、安定給水を図る。	管路耐震化率	21.07	98.0	304,880	535,076	A	今後も実施計画に沿って、事業を進めていくこと。	計画的に老朽管の耐震化を図っていかなくてはならないが、財政の健全性や今後の水需要の動向を踏まえ管路たダウンサイジングや、軌道敷下の管路については、統廃合を考慮しながら計画的に耐震化を実施していく。
				%	21.5		37,822	43,330			
漏水防止対策事業	上下水道局水道工務課	配水管の中で約40%を占めるビニル管路と、口径40mm以上の連合給水管の路面音調及び配水管から量水器までの戸別音調を実施することにより、早期に漏水を発見する。	給配水管の漏水を早期に発見し、修繕を行う事により有収率の向上を図るとともに安定給水を確保する。	有収率	99.34	110.4	13,176	14,577	B	今後も計画的に進めていくこと。	路面音調調査は、作業の性質上すべて夜間に実施しているが、通行量の少ない区域での昼間の実施、新しい技術による漏水調査の実施などを検討し、少しでも効率的に実施できるよう努力していく。
				%	90		16,524	16,891			
給配水管維持管理事業	上下水道局水道工務課	徳山地区・新南陽地区それぞれ1者と契約し、24時間の修繕体制を確立する。修繕業務が発生した場合は速やかに業務を履行する。熊毛・鹿野地区においては、年末年始や長期の休日に合わせ各地区2者と契約し、速やかな修理体制を確立する。マッピングシステムを正確に更新し、漏水箇所等を視覚化して計画的な更新を行う資料とする。	迅速な漏水修理により有収率の向上、断水・道路陥没等の二次災害の防止 マッピングシステムの定期的な更新により正確な情報提供と適切な給配水設備の維持管理に実施	指標なし	-	-	69,160	72,830	A	24時間体制の維持管理は重要であり、今後も計画どおり進めていくこと。	昼夜を問わず24時間体制で対応できる体制を整えていくことは必須であるが、対応業者の減少や簡水統合による対応地区の拡大等の環境変化が見られ、周辺市町と情報交換をするとともに、体制の在り方について調査研究していく。
					-		50,674	49,939			

事務事業	所属	手段	意図	指標名	実績値	達成率 (%)	H30事業費 H30人件費	R1事業費 R1人件費	総合 評価	評価責任者コメント	今後の実施方向性
				単位	目標値						
鹿野地区管路耐震化事業	上下水道局水道工務課	鹿野地区の経年劣化した配水管を耐震管に布設替し、災害に強い管網の構築を行う。	平成29年度に簡水統合された鹿野地区における配水管の布設状況を把握検討し、耐震管へ布設替えを行い安定給水を図る。	鹿野地区管路耐震化率	28.76	101.6	14,520	17,930	B	投資回収を念頭に、実施計画に沿って進めること。	マッピングシステムにより資産の整備の精査を行い、管路の老朽化と重要性を総合的に判断し、周南市全体で更新計画を進めていく。
				%	28.3		2,938	2,938			
熊本未普及地区整備事業	上下水道局水道工務課	未普及地域の給水要望を集約し、安全な水質の確保及び事業の健全性等を考慮し配水管の整備を実施していく。	熊毛の配水区域内の未普及地域の給水要望を精査し、配水管の整備を行う。	指標なし	-	-	15,931	37,860	A	給水戸数を増やすことは重要であるが、投資回収等も踏まえ、事務事業評価のとおり進める必要がある。	次年度以降は、熊毛地区に特化した給水要望アンケートを基にした整備ではなく、水道事業全体で「周南市上下水道局配水管延長布設基準」により統一した配水管の整備を実施していく。
					-		3,672	5,141			
上下水道施設の長寿命化・耐震化事業	上下水道局下水道工務課	老朽化が進む下水道汚水管渠及び合流管渠の長寿命化計画を策定し、計画に基づき国庫補助事業として経済的・効率的に管渠の布設替えまたは更生を実施する。	老朽化した下水道汚水管渠の維持管理費の増大に対応するため、経済的・効率的な管渠の布設替え・更生を行うことにより経営の安定化を図る。	管渠の布設替え・更生延長	2.5	64.1	27,321	141,000	B	ストックマネジメント計画策定後は、計画的に事業を行っていくこと。	下水道事業は多くの社会資本(ストック)を有しており、今後、持続可能な事業推進には計画的に社会資本の更生、更新を行う必要がある。
				km	3.9		24,602	10,649			
汚水処理施設の整備事業	上下水道局下水道工務課	下水道事業計画区域において、「未整備地域の整備方針」に定められた優先順位の高い市街化区域及び用途地域内から整備を進める。	早期に水洗化を行い、生活環境及び周辺環境を改善する。	汚水処理人口普及率	94	96.9	117,651	174,500	B	計画的に進める必要がある。	下水道計画区域の中で、市街化区域でも30年以上整備されていない地域がある。市街化区域は下水道以外での水洗化ができないため、市街化区域以外で着手していない地区は計画区域から削除し、市街化区域は整備を優先して実施する。
				%	97		9,547	11,750			
雨水排除施設の整備事業	上下水道局下水道工務課	●徳山駅前の浸水を解消するため、徳山駅周辺の整備事業と連携を図りながら、雨水函渠の増強を効率的に整備する。 ●富田西部区画整理内の浸水を解消するため、区画整理事業などと連携を図りながら、雨水函渠やポンプ場を効率的に整備する。 ●富田南部他市街地の浸水を解消するため、雨水函渠を効率的に整備する。	●徳山駅ロータリー、地下道及び周辺商店等の浸水を解消、軽減する。 ●富田西部区画整理内の浸水を解消、軽減する。 ●富田南部他市街地の浸水を解消、軽減する。	都市浸水対策達成面積	774.3	100.3	221,945	437,500	A	安心安全に係る重要な事業である。しかしながら、雨水対策は、一般会計が費用負担をする事業であるので、問題のある箇所を短期間で解消することは不可能である。局財政課、市長部局財政課と連携し、計画的な実施が不可欠である。	雨水排除施設の整備は、市民の生命と財産を守る重要な事業であるが、事業の完成までには長い年数と膨大な予算が必要であり、経済的、効率的に事業を推進するため計画的に事業を進めなければならない。
				ha	771.7		21,665	16,891			
浄水施設耐震化事業	上下水道局浄水課	大迫田浄水場について平成28年度に基本計画・実施設計を完了しており、平成30年度より7箇年計画で耐震化・劣化補修工事を実施する。	浄水施設が老朽化する中で耐震化工事を実施することで安定供給が促進できると共に、劣化補修工事を併せて実施することで施設の長寿命化を図る。	浄水施設耐震化施工箇所数	1	100.0	87,701	241,417	A	今後の実施方向性のとおり、耐震化に向けた取組を計画的に実施する必要がある。	「周南市水道事業施設整備基本計画」に基づき、楠本浄水場は将来、廃止の方向性で動向している。耐震性の有無については、簡易耐震診断により判定を行い、耐震補強の必要性が生じた時に業務委託により詳細な耐震診断および耐震補強設計を実施することとする。
				箇所	1		8,078	15,422			
水道施設の統合事業	上下水道局浄水課	一の井手浄水場の浄水処理を中止し、菊川浄水場の給水区域へ統合することで低水準であった菊川浄水場の稼働率を向上させる。	浄水場の施設統合を進めることでランニングコストの縮減と今後の設備投資費用の抑制が見込まれる。	施設最大稼働率	60	95.9	0	0	A	今後も実施計画に沿って、事業を進めていくこと。	一の井手浄水場の菊川浄水場への統合が完了し、実運用の結果、想定していたよりも動力費が大幅に増え、ランニングコスト面で効果が縮減した。今後、運転管理方法の見直しを検討する必要がある。
				%	62.6		10,282	0			
浄水施設安全対策事業	上下水道局浄水課	各浄水場および配水池の必要箇所に監視カメラを新設し、またこれらカメラ設備の維持管理を行っていく。浄水場の主要ポイントに自動水質監視装置(油膜検知器・バイオアッセイ監視装置等)を設置する。	浄水場、配水池等へ監視カメラを設置することで迅速な不法侵入者対応やテロ抑止力の向上を目指す。また、自動水質監視装置を設置し安全な水の供給に努めるものである。	監視カメラ設置箇所数	7	100.0	109,855	23,031	A	安心して安全な水の供給のため、浄水場の安全対策を進めていくこと。	テロ対策として監視カメラの設置箇所、台数、運用方法等について検討が必要である。
				箇所	7		8,078	16,157			
流域浄化センター施設管理事業費	上下水道局下水道施設課	流域下水道接続点(5か所)の水質調査を行い、流域下水道管理者である山口県に報告する。	流域下水道浄化センターの安定的な運転に資するとともに、公共用水域の水質保全に寄与する。	水質調査結果において異常な測定結果とならなかった項目数	168	100.0	1,502	2,073	A	今後も適切に事業を実施すること。	山口県流域下水道維持管理要綱に従い、適切に事業を実施する。
				項目	168		2,938	2,203			
下水道水質指導監督費	上下水道局下水道施設課	特定事業場の排水水を測定し、指導監督を行う。	特定事業場の排水水について指導監督することで、公共用水域の水質保全に寄与する。	排除基準遵守事業場数	62	87.3	891	900	B	今後も適切に事業を実施すること。	調査事業場、調査頻度についても検討を要するが、基準を遵守できない事業場について粘り強く指導する。
				事業場	71		2,938	2,203			
中央浄化センター施設管理事業費	上下水道局下水道施設課	施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、産業廃棄物の処分等を行う。	浄化センターを安定的に運転し、市民の衛生的な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。	水質分析を行った検体のうち、基準を遵守した検体数	260	100.0	362,935	337,403	A	計画的に再構築を進めること。	再構築を進めており、計画の進行に応じた運転管理を行う。
				検体	260		21,665	16,524			
東部浄化センター施設管理事業費	上下水道局下水道施設課	施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、産業廃棄物の処分等を行う。	浄化センターを安定的に運転し、市民の衛生的な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。	水質分析を行った検体のうち、基準を遵守した検体数	260	100.0	233,387	210,020	A	計画的に事業を実施すること。	ストックマネジメント計画を進めており、計画の進行に応じた運転管理を行う。
				検体	260		9,547	8,813			
新南陽浄化センター施設管理事業費	上下水道局下水道施設課	施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、産業廃棄物の処分等を行う。	浄化センターを安定的に運転し、市民の衛生的な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。	水質分析を行った検体のうち、基準を遵守した検体数	260	100.0	255,988	261,664	A	計画的に事業を実施すること。	ストックマネジメント計画を進めており、計画の進行に応じた運転管理を行う。
				検体	260		13,954	21,298			



事務事業	所属	手段	意図	指標名	実績値	達成率 (%)	H30事業費 H30人件費	R1事業費 R1人件費	総合 評価	評価責任者コメント	今後の実施方向性
				単位	目標値						
北部浄化センター施設管理事業費	上下水道局下水道施設課	施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、産業廃棄物の処分等を行う。	浄化センターを安定的に運転し、市民の衛生的な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。	水質分析を行った検体のうち、基準を遵守した検体数	260	100.0	10,542	19,094	A	計画的に事業を実施すること。	ストックマネジメント計画を進めており、計画の進行に応じた運転管理を行う。
				検体	260		0	0			
鹿野浄化センター施設管理事業費	上下水道局下水道施設課	施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、産業廃棄物の処分等を行う。	浄化センターを安定的に運転し、市民の衛生的な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。	水質分析を行った検体のうち、基準を遵守した検体数	380	100.0	32,023	35,268	A	計画的に事業を実施すること。	ストックマネジメント計画を進めており、計画の進行に応じた運転管理を行う。
				検体	380		3,672	2,938			
農業集落排水施設管理事業費	上下水道局下水道施設課	施設の運転維持管理、保守点検、修繕、水質試験、汚泥処分、一般廃棄物の処分等を行う。	浄化センターを安定的に運転し、市民の衛生的な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。	水質分析を行った検体のうち、基準を遵守した検体数	568	100.0	71,438	70,223	A	計画的に事業を実施すること。	ストックマネジメント計画を進めており、計画の進行に応じた運転管理を行う。
				検体	568		13,586	9,914			
江口ポンプ場維持費	上下水道局下水道施設課	施設の運転維持管理、保守点検、修繕、産業廃棄物の処分等を行う。	ポンプ場を安定的に運転し、市民の衛生的な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。	作業計画書と点検報告書の確認回数	12	100.0	10,184	9,282	A	計画的に事業を実施すること。	ストックマネジメント計画を進めており、計画の進行に応じた運転管理を行う。
				回	12		4,406	4,774			
新南陽汚水中継ポンプ場維持費	上下水道局下水道施設課	施設の運転維持管理、保守点検、修繕、産業廃棄物の処分等を行う。	ポンプ場を安定的に運転し、市民の衛生的な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。	作業計画書と点検報告書の確認回数	24	100.0	24,995	23,323	A	計画的に事業を実施すること。	ストックマネジメント計画を進めており、計画の進行に応じた運転管理を行う。
				回	24		0	0			
新南陽雨水ポンプ場維持費	上下水道局下水道施設課	施設の運転維持管理、保守点検、修繕、廃棄物の処分等を行う。	ポンプ場を安定的に運転し、雨水等による農地、宅地への冠水を防ぎ、市民の財産の保護及び衛生的な生活環境の確保を図る。	作業計画書と点検報告書の確認回数	72	100.0	50,749	55,269	A	浸水対策は喫緊の課題であるが、事業規模も大きいため、費用対効果を検証しつつ、着実に進めること。	ストックマネジメント計画を進めており、計画の進行に応じた運転管理を行う。
				回	72		367	734			
須々万ポンプ場管理事業費	上下水道局下水道施設課	施設の運転維持管理、保守点検、修繕、廃棄物の処分等を行う。	ポンプ場を安定的に運転し、市民の衛生的な生活環境を確保し、公共用水域の水質保全を図る。	作業計画書と点検報告書の確認回数	12	100.0	3,495	7,224	A	計画的に事業を実施すること。	ストックマネジメント計画を進めており、計画の進行に応じた運転管理を行う。
				回	12		4,774	3,305			
水質検査事業	上下水道局水質管理課	水質検査技術の向上と検査可能項目の更なる拡充を目指す。	市民の水道水質に対する安心・安全の意識の向上を図る。	指標なし	-	-	39,629	47,057	A	水質検査は、「周南都市水道水質検査センター協議会」で、下松市、光市と共同で実施している。本業務は、水道水供給で最も重要であり、日本水道協会の優良試験所として「水道GLP」の認証を受けている。分析機器の更新等は、下松市、光市と調整の上、計画的に行うとともに人材育成にも努める必要がある。	
					-		52,567	1,299			
協議会運営事業	上下水道局水質管理課	3市による協議会を設置し、水道水検査を共同で実施する。	広域化(周南市、下松市、光市)による共同実施	指標なし	-	-	7,440	6,956	A	水質検査業務は平成7年に「周南都市水道水質検査センター協議会」を組織し、下松市、光市と共同で実施している。水質検査業務は水道法に定められた、水道水を供給する上で根幹をなす事務事業の一つであることから、協議会の適切な運営等を継続する必要がある。	
					-		0	0			